

観光と防災が融合した新たな交流拠点 みなとオアシス土肥

静岡

2024年7月に静岡県伊豆市の土肥温泉に新たな観光スポット「みなとオアシス土肥」が誕生して、9ヵ月を迎えます。みなとオアシスとは、国土交通省が推進する「みなと」を核としたまちづくりを促進する取り組みの一環であり、地域振興の拠点として期待されています。

「みなとオアシス土肥」は、以下の5つの施設を中心に構成され、観光と防災機能を兼ね備えた多機能な交流拠点としての役割を担っています。

1. テラッセ オレンジ トイ ～防災拠点と観光交流の融合～

「みなとオアシス土肥」のシンボルとも言える「テラッセ オレンジ トイ」は、地上4階建ての避難施設と観光施設の津波避難複合施設です。1階と2階は、観光案内所や休憩スペース、物販店舗などとして利用され、地域住民や観光客の交流拠点となっています。3階以上は、津波などの災害発生時に約1,200人を収容できる避難スペースとなっており、水や食料、簡易トイレなどの備蓄品、AEDや非常用発電機などが完備されています。

2. 松原公園 ～歴史と自然が調和する憩いの場～

樹齢400年以上の松並木が続く松原公園は、土肥温泉の中心部に位置し、市民や観光客の憩いの場として親しまれています。園内には、足湯や芝生広場、遊歩道などが整備されているほか、土肥ゆかりの歌人若山牧水や島木赤彦の歌碑、彫刻など、土肥温泉の歴史や文化を紹介する施設もあり、散策するのに最適です。

3. 屋形海岸 ～多様なマリレジャーが楽しめる海岸～

屋形海岸は、駿河湾に面した美しい海岸で、海水浴やマリンスポーツなどが楽しめます。海岸沿いには遊歩道や休憩所が整備されており、散策や景色を楽しむことができます。また、近年では、SUP(サップ)やカヌー



「避難施設」と「観光施設」が融合したテラッセ オレンジ トイ

などの体験型アクティビティも人気を集めており、若年層の誘客にも貢献しています。

4. 土肥金山 ～歴史と浪漫が融合したパワースポット～

佐渡金山に次ぐ産出量を誇った伊豆最大の金山である土肥金山は、現在は砂金採りや坑道見学が体験できる金のテーマパークとなっています。金山資料館の黄金館には世界最大級の巨大な金塊や、金採掘の歴史を紹介する展示などがあり、子供から大人まで楽しめます。

5. 土肥港旅客ターミナル ～地域の交通拠点～

駿河湾フェリーのターミナルである土肥港旅客ターミナルでは、フェリー乗船チケットの販売や、アイスなどの物販、レンタサイクルの貸し出し、パンフレット提供のほか、路線バスの待合所としても利用されており、地域住民や観光客の利便性を高めています。

「みなとオアシス土肥」は、これらの施設が有機的に連携し、観光客と地域住民が交流することで地域活性化と防災機能の両立を目指しています。観光客にとっては、土肥温泉の魅力を満喫できる新たなスポットとして、地域住民にとっては、安心・安全な生活を支える防災拠点として、今後ますます重要な役割を担っていくことが期待されています。

伊豆市公式ホームページ



世界最大級の250kgの巨大金塊
(2025年3月27日現在の価格:40億円)